

謹賀
2025
新年

Vol.67

2025 1月 - 3月

2025 1/10 発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア



ジャンンドレア・ノセダ指揮 ナショナル・ユースオーケストラUSA

National Youth Orchestra of the United States of America 大阪公演

指揮
ジャンンドレア・ノセダ
Gianandrea Noseda

Close Up

ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団 大阪公演
株式会社ジャパン・アーツ代表取締役社長
二瓶純一インタビュー

The Symphony Hall Big Band Vol.25
～Music Director 菊池寿人～
スペシャルゲスト May J.インタビュー

横浜 源チェロリサイタル2025

ほか

ヴァイオリン
レイ・チェン
Ray Chen



NEW RELEASE LINE UP

- 2025年 2・3月 公演直前コンサート特集
- 川井郁子 シンフォニックコンサート 2025
音楽舞台～源氏がたり～&ヴァイオリンコンサート インタビュー後編
- ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 大阪公演
株式会社ジャパン・アーツ 代表取締役社長 二瓶純一インタビュー
- プラスdeミュージカル by The Symphony Hall Super Brass
～cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra～
- The Symphony Hall Big Band Vol.25
～Music Director 菊池寿人～ スペシャルゲスト May J. インタビュー
- 熱狂コンチェルト 2025
宮田 大×福岡洸太郎 デュオリサイタル
- 横坂 源 チェロリサイタル2025
珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.9 荒庸子 チェロ・リサイタル 2025
- 仲道郁代 ピアノ・リサイタル
Osaka Shion Wind Orchestra 第159回定期演奏会
- 濱野芳純 オルガン名曲決定版 2025
- 大阪フィル×クリストフ・エッセンバッハ 第九演奏会
- 0歳児からの“光と映像で楽しむ”オーケストラ Vol.20
- 西本智実指揮/名曲選! オペラとカンツォーネの世界
- 国立カナダナショナル管弦楽団
- ジャンンドレア・ノセダ指揮 ナショナル・ユースオーケストラUSA 大阪公演
- 山響さくらんぼコンサート2025 大阪公演
- 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」 Vol.13
- The Symphony Hall ×関西4オケ 2025 New Year Message
- ABC主催公演:イベント情報
- 日本センチュリー交響楽団
- 大阪音楽大学 第56回吹奏楽演奏会
近畿大学付属高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会
- 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.67
- フランクフルト放送交響楽団 大阪公演
ゲルハルト・オピッツ プレミアム ピアノ・リサイタル
- Concert Calendar 2025.1～2025.3

ザ・シンフォニーホール
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

18歳以下限定

子供無料招待席のご案内

ザ・シンフォニーホールでは、子供たちが劇場・音楽堂等において本格的な実演芸術を鑑賞・体験等する機会を提供する取組を、文化庁支援のもとで行うことが決定いたしました。下記の対象公演で子供無料招待席を設け、18歳以下の皆様を公演にご招待いたします。ふるってご応募ください。

対象公演

2025.2/11 (火・祝) 3:00PM [対象] 中学生以上18歳以下
The Symphony Hall プラチナコンサート
世界の巨匠とともに 2024
ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 大阪公演

2025.2/21 (金) 7:00PM [対象] 4歳以上18歳以下
プラス de ミュージカル
The Symphony Hall Super Brass
～cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra～

対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下
(公演によって異なりますので、ご注意ください)

ご応募・
その他詳細は
こちらから▶▶▶



文化庁 子供文化芸術活動支援事業
(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

ザ・シンフォニー チケットセンター Information

WEBでのチケット購入がますます便利

初回利用時は新規利用登録が必要です!

2024年9月2日よりザ・シンフォニー チケットセンターのチケット購入システムをリニューアルいたしました。すでにシンフォニア会員の方も、2024年9月2日以降、初めてWEBにてチケット購入をご希望のお客様は、「新規利用登録」が必要です。

ご利用手順

- 1ザ・シンフォニーホールのWEBサイトの「チケット」より「新規利用登録はこちら」をクリック
- 2利用規約・個人情報保護方針をご確認いただいた後、お客様情報の入力画面へ
- 3お客様情報を入力
※すでにシンフォニア会員の方は、会員番号を入力してください。
※会員番号がわからない場合は、チケットセンターまでお問い合わせください。
※お名前と会員登録時のお電話番号、会員番号が一致しましたら、会員番号を引き続きご利用いただけます。
※2024年9月2日以前までご利用いただいていたパスワードはご使用できません。新たに登録をお願いいたします。
- 4入力されたメールアドレスに「仮登録完了」のお知らせが到着後、メール記載のURLより「本登録」を完了してください

ご不明な点はザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333(11:00～16:00/火曜定休)へお気軽にお問い合わせください!

NEW RELEASE LINE UP

2/21(金)
7:00pm開演

p6-7

プラスdeミュージカル
by The Symphony Hall
Super Brass



[指揮]喜多弘悦
[演奏]The Symphony Hall
Super Brass

美女と野獣
シンデレラ
オペラ座の怪人
マンマ・ミーア!
ウィキッド ほか

発売中

4/17(木) 19(土)
17日: 7:00pm開演 19日: 2:00pm開演

p14-15

大阪フィル ×
クリストフ・エッセンバッハ
第九演奏会



[指揮]クリストフ・エッセンバッハ
[独唱]調整中
[合唱]新国立劇場合唱団
[管弦楽]大阪フィルハーモニー
交響楽団

ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調
作品125 「合唱付」 ほか

先行予約：1/23(木)
一般発売：1/30(木)

5/6(火・休)
午前の部：11:00am開演
午後の部：14:00pm開演

p16

0歳児からの
“光と映像で楽しむ”オーケストラ Vol.20
『だいつけお兄さんとレストランに行こう!』



[指揮]松元宏康
[ゲスト]横山だいすけ
[管弦楽]大阪交響楽団

★プロジェクションマッピングつき♪だいつけお兄さんが参加します
ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲より
“スイス軍の行進”＊/バナナの親子♪/おおきなかぶ♪/チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り人形」より”中国の踊り””アラビヤの踊り””スベインの踊り”/ムジトラウス・ホルカ「雷鳴と稲妻」/中川ひろたか：にじ／中西圭三：ぼよん行進曲／エルガー：行進曲「威風堂々」第1番＊

シンフォニア会員先行：1/23(木)
一般発売：1/26(日)

5/25(日)
2:00pm開演

p17

西本智実指揮／
名曲選! オペラとカンツォーネの世界



[指揮]西本智実
[テノール]金山京介、澤原正
[管弦楽]イルミナートフィル
ハーモニーオーケストラ
[合唱]イルミナート合唱団

第1部 A. ロッシェニ：オペラ「ウィリアム・テル」序曲「バスジョーネ（焦熱）」（ナポリ民謡）「カタリ・カタリ」（ナポリ民謡）/ブッチェーニ：オペラ「マノン・レスコー」間奏曲/ヴェルディ：オペラ「ナブッコ」より「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」/ヴェルディ：「トロヴァトーレ」より「アンヴィル・コーラス」ほか
第2部 ヴェルディ：オペラ「ラ・トラヴィアータ」より「乾杯の歌」/マスカニー：オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲/ドニゼッティ：オペラ「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」/ヴェルディ：オペラ「アイーダ」より「凱歌行進曲」「オー・ソレ・ミオ」（ナポリ民謡）ほか

一般発売：2/20(木)

6/7(土)
2:00pm開演

p18-19

国立カナダナショナル管弦楽団



[指揮]アレクサンダー・シェリー
[ピアノ]オルガ・シェプス
[コンサートマスター]川崎洋介
[管弦楽]国立カナダナショナル管弦楽団

ケイコ・ドウヴォー：水中で聞く(Listening Underwater)/ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18/ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調「運命」 op.67

一般発売：1/26(日)

6/20(金)
7:00pm開演

p22

山響さくらんぼコンサート2025
大阪公演



[指揮]オッコ・カム
[ヴァイオリン]神尾 真由子
[管弦楽]山形交響楽団

シベリウス：鶴のいる風景 作品44-2
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47
シベリウス：交響曲 第2番 二長調 作品43

先行予約：1/23(木)
一般発売：1/27(月)

7/24(木)
7:00pm開演

p20-21

ジャンンドレア・ノセダ指揮
ナショナル・ユースオーケストラUSA
大阪公演



[指揮]ジャンンドレア・ノセダ
[ヴァイオリン]レイ・チェン
[管弦楽]ナショナル・ユースオーケストラUSA

カルロス・サイモン：祝典序曲（ボストン交響楽団・カーネギーホール共同委嘱新作）/メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64/ラフマニノフ：交響曲 第2番 小短調 op.27

シンフォニア会員先行：1/23(木)
一般発売：1/26(日)

次号シンフォニア68号で特集!

5/28(水)
7:00pm開演

The Symphony Hall
Big Band Vol. 26
～スペシャルゲスト 古澤巖

シンフォニア会員先行：1/23(木) 一般発売：1/26(日)

8/2(土)
2:00pm開演

オールバッハ名曲選!!
真夏のオルガンコンサート
2025

8/23(土)
2:00pm開演

プロジェクションマッピング×パイプオルガン
新・絶絶のオペラ座の怪人
今年の夏もオルガンが熱すぎる!!

●表紙「ジャンンドレア・ノセダ指揮 ナショナル・ユースオーケストラUSA 大阪公演」
ナショナル・ユースオーケストラUSA ©2024 Chris Lee
ジャンンドレア・ノセダ ©Stefano Pasqualetti / レイ・チェン ©Decca Records 2024

2025年2月・3月

公演直前コンサート特集

和楽器とヴァイオリンの 美音が絡み合う名曲の数々

川井郁子

Ikuko Kawai Symphonic Concert
シンフォニックコンサート2025
音楽舞台／源氏がたり！
& ヴァイオリンコンサート

Interview 後編



——東京藝術大学に進学して、いわゆるクラシックの王道の道を歩んでこられました。どうして、多様な曲、楽器を取り上げるようになったのですか？

東京藝大に入ったら、皆、同じ曲、同じ理想に向かって弾いている気がして……。『私がこの世界にいる必然性は？』と考えるようになりまして。亡くなった巨匠の演奏も今も音源として残っていて、世界中に数え切れないほどのヴァイオリニストがいる。そう考えると自分の必然性に自信が持てなくなっちゃったんです。そんな時、アルゼンチンの作曲家、ピアソラに出会いました。故郷の音楽、タンゴをクラシックに盛り込んだピアソラ。彼のようにならないな、と思ったのがきっかけです。



「ヴァイオリン」川井郁子

夕顔～「源氏物語」より～／モルタウ／ジブリ・メドレー／乱拍子・急の舞「道成寺」より／ブルーバード／アヴェ・マリア／ホワイトレジェンド～「白鳥の湖」より～／祇園精舎「平家物語」より ほか(予定)

2025.3/28(金) 7:00PM
全席指定 S席 6,500円 A席 5,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

——多彩なプログラムの上演に向けて、お客様にメッセージをお願いします。

林真理子さんの小説を下敷きにした『源氏がたり』に加えて、皆さんがよくご存じの曲を和楽器の音色と共に演奏します。どんな世代にも楽しんでいただけたらと思います。お楽しみにいらして下さい。

(取材・文 青木さやか)

ジブリと和楽器の出会い

——今回は、多様なジャンルの曲を披露されますが、選曲の意図を教えてください。

和楽器と弦楽器で楽しんでいた曲を、スタジオジブリのアニメの曲などを入れていきます。例えば、『もののけ姫』の『アシタカせっ記』や、『ハウルの動く城』の『人生のメリーゴーランド』など。ジブリの曲って、和楽器の音色が合うんですよ。耳なじみがあって楽しんで頂けると嬉しいです。メロディーで映像が心に浮かんで来るのも魅力ですね。

今、歩みを振り返ってみていかがでしょうか。

あの時の悩みを無視しなくて正解だったと思います。一方で、クラシックの奏法はスポンジのように吸収しました。演奏法ってクラシックが一番強い。例えば、周りの音色を響かせる奏法や技巧のバリエーションはクラシックに勝るものはない。そこを学び、極めたものは、今でも財産です。

圧倒的な響きで一体感あるホールと熱のある大阪の観客

——何度も演奏しているザ・シンフォニーホールはどんな場所ですか。また、大阪の印象は？

生音の響きが素晴らしく、何を弾いても気持ちよく演奏できるホールです。また、大きいホールなのにお客様との一体感があり、距離が近い感じがします。



2/11(火・祝) 3:00pm 開演

[指揮] サカリ・オラモ
[ヴァイオリン] 諏訪内晶子
[管弦楽] ケルン・ギェルツェニヒ 管弦楽団
※都合により当初発表の指揮者から変更になりました。

P.04



2/21(金) 7:00pm 開演

[指揮] 喜多弘悦
[演奏] The Symphony Hall Super Brass

P.06



2/24(月・休) 2:00pm 開演

[指揮] 現田茂夫
[ヴァイオリン] 南 紫音
[チェロ] 佐藤晴真
[ピアノ] 上原彩子
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

P.10



3/15(土) 2:00pm 開演

[チェロ] 宮田 大
[ピアノ] 福間 洸太郎

P.10



3/22(土) 2:00pm 開演

[ピアノ] 仲道郁代

P.12



3/22(土) 7:00pm 開演

[チェロ] 横坂 源
[ピアノ] 沼沢淑音

P.11



3/28(金) 7:00pm 開演

[ヴァイオリン] 川井郁子

P.03



3/29(土) 2:00pm 開演

[指揮] 大植英次
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

P.12



3/29(土) 7:00pm 開演

[チェロ] 荒 庸子
[ピアノ] 山田武彦

P.11

Gurzenich Orchestra Köln

ケルン・ギェルツェニヒ
管弦楽団 大阪公演指揮
サカリ・オラモ
Sakari Oramo

©Benjamin Ealovega

「ヴァイオリン」

諏訪内晶子
Akiko Suwanai

©TAKAKI KUMADA

株式会社ジャパン・アーツ
代表取締役社長

二瓶純一 Interview

profile

世界第一級の芸術団体やソリストの招聘、および数多くの日本人演奏家のマネジメントに携わる。2018年より現職。日本クラシック音楽事業協会専務理事、ジェスク音楽文化振興会理事、日本パレレフスキ協会プロデューサー。

マラー5番世界初演のドイツの名門
ライブでしか味わえない伝統の響き

脈々と紡がれる楽団固有の音

——クラシック音楽事務所「ジャパン・アーツ」は長年にわたり数多くの海外オーケストラの日本への招聘や、海外・国内アーティストのマネジメントを行う、日本最大級の音楽専門のマネジメント会社です。その代表取締役の二瓶純一社長に今回初めてシンフォニーに登場していただきました。早速ですが、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団について、どんな印象を持っていますか。

我々は今年度ドイツから4つのオーケストラ（10月フランクフルト放送交響楽団、11月バイエルン放送交響楽団、12月ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、2月ケルン・ギェルツェニヒ管弦

楽団）をお招きしますが、それぞれに違う個性があります。ギェルツェニヒ管の次期音楽総監督・カペルマイスター、アンドレス・オロスコ・エストラダさんに特色を尋ねると「歴史として紡がれた楽団固有の音がある」と言っています。日本のオーケストラは技術的にも世界トップクラスですが、最初の1音を聴いた時に伝わる「色」、アイデンティティのような音が感じられるのが、このオーケストラの特徴と言えるかもしれません。私も2022年のギェルツェニヒ管日本ツアーでブルックナーの交響曲第4番を聴きましたが、その音色は今も心に残っています。伝統ある楽団であり、ザ・シンフォニーホールで演奏する

マラーの交響曲第5番は、マラー自身の指揮によってこのオーケストラが世界初演をしました。

——サカリ・オラモさんが楽団のポストに就くことも発表されたばかりです。

オラモさんがギェルツェニヒ管と初めて共演したのは2023年3月ですが、相性が大変良かったそうです。2025年から楽団のアーティスティック・パートナーに就任することも決まり、今回ホットな組み合わせでお聴きいただけることをうれしく思っています。オラモさんの出身国であるフィンランドは、巨匠ヨルマ・パヌラ先生が今をときめく優れた指揮者を次々と生み出しています。オラモさんをはじめ、エサッペッカ・サロネン、ミッコ・フランク、ユツカ・ベッカ・サラスティ、オスモ・ヴァンスカ、ピエタリ・インキネン、タルモ・ペルトコフスキ、クラウス・マケラ……いずれも先生のお弟子さんです。私も以前パヌラ先生の話を聞いたことがあるのですが、「才能がある人をどうやって見抜くのか」という質問に対して答えはこうでした。学生たちが飲食をしながら雑談する様子を見るのだ、と。いつの間にか話題の中心になる人は指揮者の資質を備えているのだそうです。言葉やコミュニケーションの取り方

を観察するという話は面白いと思います。

日本を代表するヴァイオリニスト

諏訪内晶子と名匠オラモの共演！

——ヴァイオリニスト諏訪内晶子さんの魅力は。

諏訪内さんは「国際音楽祭NIPPON」の芸術監督を務めています。そこに彼女の生きざまが現れていると思います。「横の繋がり」として同世代の音楽家とアンサンブルをし、「縦の連なり」として先輩方から受け継いだものを次世代に託すためにマスタークラスを開催する。被災地支援のための活動もする。社会に対する眼差しを若い頃から持っているアーティストだと思っています。1990年のチャイコフスキー・コンクール優勝後、アメリカで音楽以外の学問を学んだことも影響しているのかもしれませんが。私がこの音楽祭を通じて感銘を受けるのは、日本のトップブレイヤーたちが彼女と一緒にアンサンブルをすることに大きな喜びを感じているということです。ヴァイオリニストが憧れるヴァイオリニストとあって良いと思います。今回諏訪内さんが演奏するロマンティックな名曲、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番とマラーの交響曲第5番は、魅力的なプログラムだと思います。

——お客様へのメッセージをお願いします。

「漆黒の闇のような沈黙」という言葉で表現した演奏家もいましたが、海外の音楽家は日本の聴衆の集中力に感動する方が多いです。日本のコンサートホールほど沈黙を味わえる場所はありません。そして、匂い、音色のグラデーション、空気の波動など、五感で刺激を受けると新しい風景が見えてくるのではないのでしょうか。CDやライブ配信など音楽の楽しみ方はさまざまですが、再現のしようがない、ライブならではの醍醐味をザ・シンフォニーホールという素晴らしい空間で体験してください。

(取材文 出水奈美)

Message from

諏訪内晶子

サカリ・オラモさんはご自身がヴァイオリニストでもあるので共演しやすい指揮者の一人です。綿密な解釈をベースにオーケストラを歌わせることが得意で、音のバランスに気を配る指揮者ではないかと思います。15年ほど前に別のオーケストラとブルッフで共演し、絶妙な間で音楽作りをして下さったので、また一緒に出来ることが大変楽しみです。そして、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団とは、15年以上前から既に何度も共演を重ねていますが、マラーの交響曲やブラームスの二重協奏曲などのいくつかの世界初演を行ったというレガシーが受け継がれている楽団で、豊かな音色で柔軟な演奏をするオーケストラという印象を持っています。ザ・シンフォニーホールにぜひお越しください。

[指揮]サカリ・オラモ [ヴァイオリン]諏訪内晶子
[管弦楽]ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団

※都合により当初発表の指揮者から変更になりました。

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
マラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調

2025.2/11(火・祝) 3:00PM

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(全席指定 税込)

発売中

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

2025年新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

コロナ禍で演奏機会が激減したプレーヤーと共に、「音楽の灯を絶やさない」、そして音楽の力を信じて、色々な取り組みを始めて参りました。「生の音楽を思いっきり楽しめるコンサートを再建しよう」と2022年に立ち上げたThe Symphony Hall Super Brassもその一つです。多くの皆様のご支持を賜り、「0歳からのコンサート」や小学生の夏休みの自由研究をテーマに親子で楽しめる「親子定期演奏会」、海外アーティストを中心にした「プラチナコンサートシリーズ」等、多くのコンサートもコロナ前の様に活気を帯びて参りました。

多くの方々に支えられて乗り越えたコロナ禍。これからもアーティスト、ホール、マネージメント、関わる全ての方々と力を合わせて素晴らしい音楽空間を提供し続けて参ります。本年も皆様のご来館をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

本年2025年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますように祈念申し上げます。



The Symphony Hall
取締役GM・音楽総監督
喜多弘悦

[指揮] 喜多弘悦
[演奏] The Symphony Hall Super Brass

美女と野獣 / シンデレラ / オペラ座の怪人 / マンマ・ミーア! / ウィキッドほか

2025. 2/21(金) 7:00PM

全席指定 S 6,600円 (S 高校生以下(4~18歳) 3,300円) A 4,400円(税込)
※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

パワフルなブラスと華麗なミュージカルの新たなマリァージュ!
ド派手にカッコよく! とことん追求しながら躍進を続けるザ・シンフォニーホール・スーパーブラス(TSHSB)。2022年7月に名門Osaka Shion Wind Orchestraとザ・シンフォニーホールの共同企画で始動したこの一大プロジェクトは、Shionのメンバーと関西で活躍する精鋭で構成され、そのパワフルなサウンドは通常のオーケストラの2~3割増しになると言われる。しかもそれが豪華絢爛なプロジェクションマッピングと共に繰り広げられることから、唯一無二の感動体験として多くの支持を得てきた。吹奏楽や映像の美を愛する方々

を存分に魅了するのはもちろん初心者も予備知識なく楽しめる演出になっているのが大きな魅力だ。そんなTSHSBを立ち上げ、指揮者を務めるのは、ザ・シンフォニーホール音楽監督の喜多弘悦。中高時代にブラスバンドで打楽器を担当し、高校生の頃に来日したニューヨーク・フィルハーモニックの首席ティンパニストにレッスンを受けたのがきっかけで、アメリカのジュリアード音楽院に留学。打楽器だけでなく、指揮や音楽理論も学んだ本格派で、帰国後に学生とプロ奏者の混成ビッグバンドを結成した。この時の同僚だったプロ奏者が、TSHSBの結成と運営に尽力してくれており、そうした友情が揺るぎないサウンド

の原動力になっているのだろう。
一人でも多くの聴き手が楽しめるように工夫された公演!
「ブラス de ミュージカル」をテーマにお届けする今回は、ブロードウェイを彩ってきた「愛」のミュージカル音楽の金字塔を選びすぐてお贈りする。
ディズニーが演劇ビジネスに初進出した記念すべき作品で、ディズニーシアトリカル・プロダクションズの手によって1994年に初演されて以来、世界中で大ヒットを記録している美女と野獣のハイライト。巨匠アンドリュー・ロイド・ウェバーが5年ぶりに手がけた新作オリジナル・ミュージカルで、21年7月にロンドンでワールドプレミアを迎えた「シ

ンデレラ」からは、機知に富んだ歌詞でも話題になった名曲のメドレー。同じくロイド・ウェバーの代表作の一つで、19世紀中頃のバリ・オペラ座を舞台に、仮面で顔を隠して劇場地下に潜む怪人と、美しい声を持つ歌姫クリスティーヌそして彼女の幼なじみの子爵ラウルにの愛憎を描いた「オペラ座の怪人」。その優美かつ重厚に編まれた名旋律の数々が、ここでしか聴けない極上のセレクションと壮大なプロジェクションマッピングがおりなす世界が新たな感動を巻き起こす。

他にも、ABBAの22のヒット曲で構成された、いわゆるジュークボックス・ミュージカルの「マンマ・ミーア」や、「オズの魔法使い」の裏話として創作され、西の悪い魔女エルフアバと南の良い魔女グリンドラの知られざる友情を描いた「ウィキッド」など、誰もが知る傑作の名曲がずらりと並び、春が待ち遠しい2月21日の19時に行われるこちらの公演のチケットは、11月から好評発売中。S席6,600円、A席4,400円だが文化庁支援により、18歳以下は無料(定員に達し次第終了)、機会を逃しても半額の3,300円で購入できるのが嬉しい。また、4歳以上から入場可能なので、お子様の音楽教育やコンサートデビューにもお勧めだ。クラシック、吹奏楽、ミュージカルのコアファンがいずれも経験したことのない未聴の地平を味わえること間違いなしな今回の公演をぜひ一緒に体験しよう!

(文 渡辺謙太郎)



The Symphony Hall ザ・シンフォニーホール スーパーブラス
Super Brass
ブラス de ミュージカル
cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra

愛のミュージカル
名作ミュージカルの“あの曲”をたっぷりと!

The Symphony Hall
Super Brass
ザ・シンフォニーホール スーパーブラス
Shid! × The Symphony Hall



[指揮] 喜多弘悦

[スペシャルゲスト] Interview

May J.

25回目の節目にふさわしいゲスト！
歌姫May J. が初登場!!The Symphony Hall
Big Band

ザ・シンフォニーホール・ビッグバンド vol.25

Music Director 菊池寿人



ヴォーカルが何人もいるようなビッグ・バンドとの豪華共演！

— May J.さんは、ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド(TSHBB)の25回目となる節目のコンサートへのゲスト出演となるわけですが、これまでにジャズのビッグ・バンドと共演した経験はありますか？

過去に何度かありますね。つい最近だとディズニーマウズのビッグ・バンドと共演させていただきました。私の今までのキャリアを振り返ると、ジャズ・ソングをライヴで歌わせてもらったり、ジャズ・バンドと一緒にツアーを回ったことがあったりしたので、ジャズは色々に関わりが深いジャンルのひとつですね。

— May J.さんの音楽活動は、ポップスやR&Bをはじめ、非常に幅広いジャンルをカバーしていますが、ジャズを歌う上での魅力や楽しさをどのように感じていますか？

ジャズはとても奥深いのでまだ勉強中なのですが、最初に触れたのが高校生の時に受講したジャズ・ヴォーカル・アンサンブルの授業でした。

皆でハーモニーをやりながらジャズを歌うクラスだったのですが、そこでジャズの楽しさを知って、デビューしてからジャズ・ソングをカバーさせてもらう機会も増えていきました。ジャズの大御所が歌うスタンダードナンバーには、その方の人柄がすぐく出ていて、自分がカバーする時は、ちょっとメロディを変えたり、アレンジを加えたりすることで、その人のカラーになるのがすごく楽しいですね。

— 今回のビッグ・バンドとの共演にあたって、小編成のバンドの時とは、また違った歌い方になるのでしょうか？

管楽器のサウンドにはパンチがあるので、ヴォーカルが何人もいる感じになるから、複数の歌い手とセッションしているような気持ちになります。私はTSHBBとの共演も、ザ・シンフォニーホールに出演するのも今回が初めてですが、日本有数のミュージシャンが集結していて、音響も大変豊かな空間だと何っているの、とても刺激的なセッションになるのを楽しみにしています。

— May J.さんは今年だけでも、4月のミュージカル「ボディガード」、6月のビルボード大阪と、度々来阪されていますが、この街や人々の印象はいかがですか？

大阪のお客様は毎回めちゃくちゃ盛り上がってくださって、ものすごく熱いです。それは歌い終わった後の拍手や歓声だけでなく、歌っている時からダイレクトに伝わってきて。そして歌い終わると、感じた熱量のままに、歓声や拍手をいただけるのがすごく嬉しいですね。

大阪の大好きな焼肉店、敬愛する八代亜紀への想い

— ところで以前、別のインタビューで趣味がほとんどないとおっしゃっていました。

たしかに没頭するほどの趣味がないです。強いて言えば、美味しいご飯を食べることくらいですね。私、焼肉屋に行くことが多くて、大阪には安くて美味しい焼肉屋さん、沢山あるから嬉しいですね。中でも好きなのが、ハラミの専門店。色々な種類のハラミが出てきて、馬のハラミも食べられるんです。でも、それやっぱり音楽活動への活力

というか、食べて歌うという感じです(笑)。

— ハラミといえば、May J.さんが昨年11月に配信リリースした「Sweetest Crime」で、ピアニストのハラミちゃんと共演していましたね。

彼女とは昨年ブライベイトで開催されたお肉の会で初めて会ったのですが、人間的にも音楽的にもすごくウマが合って。それで、私の新譜のプロデュースである今井了介さんがハラミちゃんとも仲が良かったことから、せっかくだったから3人で一緒に作ろうよっていう流れになりました。彼女とは引き続き焼肉を食べたいので(笑)、何かインスピレーションがあったらまた一緒にやらせていただくかもしれません。

— インスピレーションという言葉に関連した質問ですが、リスベクトしているミュージシャンは？

ジャズの名曲「You'd Be So Nice To Come Home to」でコラボしたこともある八代亜紀さんです。音楽家とし

てはもちろん、人間的にも本当に素晴らしい方で、些細なことでもすごく気を遣ってください。何か悩んでいる時にアドバイスをしていた言葉は全部宝物ですね。一番印象に残っているのは、「レコーディングは8割くらいの感じでいいけど、ライヴは120%の全部出し切って歌った方がいいわよ」という言葉。録音で全力を出し切ると聴き手が疲れてしまうという、大御所の方ならではの余裕と視野の広さの表れだったのですね。

— 最後に、今回の来場者やファンの皆様に向けて、May J.さんが歌を通して伝えたいメッセージをお願いします。

ビッグ・バンドのサウンドには、オーケストラとまた違うカッコよさと迫力があって、聴き手の皆さんの心を動かせる力を持っていると思います。自分もその演奏に合わせて感動をお届けできるように全力で歌いますので、ぜひ聴きにいらしてください！

[演奏]The Symphony Hall Big Band

[スペシャルゲスト]May J.

Let It Go
If It Ain't Got That Swing
異邦人
Spread Love ほか

2025.3/27(木) 6:00PM

全席指定 8,800円 18歳以下4,400円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



The Symphony Hall Big Band

BREAKING News

ザ・シンフォニーホール・ビッグバンド vol.26 古澤 巖 公演決定！
詳細は、次号シンフォニア68号で発表!!



横坂 源

チェロ・リサイタル2025

CELLO RECITAL



ピアノ 沼沢 淑音



©Sotaro Goto

チェロ界を代表する名手・横坂 源によるリサイタルは、シヨスタコーヴィッチと小品のプログラム

チェロ界のトップランナーの横坂源。すでにザシンフォニーホールではおなじみの名手だが、3月22日のリサイタルは、シヨスタコーヴィッチのソナタをメインに据えた意欲的プログラムだ。作曲家自身が初演でピアノをつとめた名ソナタで、民族的情感やアイロニー（皮肉的）、悪魔的な激情など、様々な要素が詰まった異色作だ。横坂自身が「摩訶不思議な世界」と称するこのソナタにかかる意欲は並々ならぬものがあるので楽しみだ。この曲を軸に、洒落な小品がプログラムされた。ドビュッシーの《月の光》に加えて、オッフェンバックの《ジャクリヌの涙》、ファリャの《スペイン民謡組曲》などだが、オッフェンバックはチェロ奏者として活動した経歴をもつ作曲家だ。共演のピアニストは桐朋学園の同級生の沼沢淑音。ロシアでも学んだ沼沢との共演だということ、ロシアの現代作曲家シユニトケの《古い様式による組曲》、ジョージア出身で2024年に没したアザラシヴィリの《無言歌》といった小品も取り上げる。どちらもチェロに精通している作曲家で、この楽器ならではの深々と歌うような抒情味も満載なのでぜひご期待を。

(文 伊藤制子)

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]沼沢 淑音

ヘンデル：チェロ・ソナタ ト短調 / オッフェンバック：ジャクリヌの涙
ファリャ：スペイン民謡組曲 / アザラシヴィリ：無言歌
バルトーク：ルーマニア民族舞曲 / シユニトケ：古い様式による組曲
ドビュッシー：月の光 / シヨスタコーヴィッチ：チェロ・ソナタ ト短調 op.40

2025.3/22 (土) 7:00PM
全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



熱狂コンチェルト2025

(指揮：現田茂夫)

ヴァイオリン 南 紫音

チェロ 佐藤 晴真

ピアノ 上原 彩子

©井上嘉和

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

著名コンクール入賞者が集うコンチェルトの午後

ザ・シンフォニーホールの人気企画「熱狂コンチェルト」。2025年に登場するのは、新鮮な輝きを保ちつつ、音楽家として舞台経験を重ね続ける、年代の異なる3人のソリストだ。

ハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞し、近年さらに音楽的な深みを増すヴァイオリンの南 紫音が演奏するのは、甘くドラマティックなブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番。ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝した佐藤晴真は、緻密かつ繊細な音楽作りが生かされるシューマンのチェロ協奏曲を披露する。チャイコフスキーコンクールにおいて女性、そして日本人初の優勝者としてロシアものを得意とするピアノの上原彩子は、彼女にとって珍しいブラームスから、ピアノ協奏曲第1番というヘビーな曲に挑む。いずれも、高い技巧と歌心を持つソリストの美点が生かされるであろうレパートリー。それぞれ異なるあたたかい色彩感を持つ作曲家が選ばれ、起伏に富んだプログラムになっているのも嬉しい。

経験豊富な現田 茂夫マエストロ率いる日本センチュリー交響楽団とソリストたちの掛け合い、その末に生まれる調和を存分に楽しみたい。

(文 高坂はる香)

[指揮]現田茂夫 [ヴァイオリン]南 紫音 [チェロ]佐藤晴真
[ピアノ]上原彩子 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 op.129
ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 op.15

2025.2/24 (月・休) 2:00PM
全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



珠玉のシネマ名曲

SELECTION Vol.9

荒 庸子 チェロ・リサイタル2025



チェロ 荒 庸子



ピアノ 山田 武彦

スクリーンを彩った映画音楽の名曲とクラシックの小品を極上のチェロ演奏で味わう贅沢な一夜

リアルタイムに作品を観ていないのにノスタルジーとロマンティックな気分になれるのが映画音楽の魅力だ。最近ではオーケストラのコンサートとして定着した感のあるシネマ・ミュージックだが、ソロのリサイタルでも格別の味わいを発揮する。名チェリスト荒庸子が贈る好企画も9回目を迎える。クラシック音楽を主軸としながらもジャンルのレスに活動する彼女は様々な映画音楽や劇音楽をレパートリーとし、ここから、いいとこどりしたアルバムもリリースするなど映画音楽に並々ならぬ愛情を注ぐ。今回もチャップリン、ロータ、モリコーネから最新の《ラ・ラ・ランド》の音楽までお馴染みの名旋律にクラシックの小品を加えたプログラムを組んだ。どの曲もしみじみとした美しさに溢れ、人間の声に近いと言われるチェロだけが持つぬくもりのある音色にぴったり。使用楽器は作られてから300年を迎える1725年製のジョヴァンニ・グランチーノ。こちらもぜひご注目。

共演の山田武彦はピアノ・アレンジ・トークなど多岐に亘り活躍する、このシリーズに欠かすことの出来ない存在。人生に穏やかな幸せをもたらす素敵な一夜となるに違いない。

(文 城間勉)

[チェロ]荒 庸子 [ピアノ]山田武彦

ヤング：「80日間世界一周」より「アラウンド・ザ・ワールド」/チャップリン：「ライム・ライト」より「エターナリー」/チャップリン：「モダン・タイムス」より「スマイル」/ウィリアムズ：「シンドラーのリスト」/モリコーネ：「ニュー・シネマ・パラダイス」/シヨスタコーヴィッチ：「馬あふ」より「ロマン」/ピアソラ：「エンリコ4世」より「アヴェ・マリア」/モリコーネ：「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」/マンシーニ：「ひまわり」/ロータ：「ゴッドファーザー」より「愛のテーマ」/ハーヴィッツ：「ラ・ラ・ランド」より「アナザー・デイ・オブ・サン」/サン＝サーンス：白鳥/フォーレ：エレジー op.24 / ホッバー：ハンガリー狂詩曲 op.68

2025.3/29 (土) 7:00PM
全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



宮田 大

福間 洸太郎

デュオリサイタル

[チェロ]

[ピアノ]

©鈴木久美子

3月に待望の「デュオリサイタル」を開催。それぞれ出演は多い人気奏者の二人が、ザ・シンフォニーホールのステージに、初めて揃って登場。

いよいよ目前に迫ってきた共演コンサート。これまでに数多くの意欲的なプログラムを聴衆に届けてきた実力派コンビだけに、今回も趣向を凝らしたラインナップが組まれており、前半も後半もオペラに因んだ楽曲で幕開け。天才作曲家二人分の魅力を詰め込んだ冒頭の「魔笛」変奏曲に続いては、ベートーヴェンのチェロ・ソナタ、しかもポピュラーな第3番ではなく、第2番で室内楽の醍醐味である楽器同士の対話を堪能させる。後半はピアノのソロ演奏から、ショパンが当時パリで流行っていたエロルドのオペラ《リュドヴィック》の旋律を主題にして書き上げた、華麗なる変奏曲で文字通りゴージャスにスタート。そしてメインにはそのショパンによる渾身のチェロ・ソナタを用意。生前に発表・出版された最後の作品であり、39歳という短い生涯の集大成として、その複雑な晩年の心情をどのように紡ぎ出せるかが聴き所となる。以上、プログラム全体を通してどちらの楽器にとっても手強い楽曲が並ぶが、この二人なら持ち前の明るさと抜群の相性で楽しませてくれるのは、間違いない！

(文 東端哲也)

[チェロ]宮田 大 [ピアノ]福間洸太郎

ベートーヴェン：「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO 46/7
ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 Op. 5-2
ショパン：華麗なる変奏曲 op.12 (ピアノソロ)
ショパン：チェロ・ソナタ ト短調 op.65

2025.3/15 (土) 2:00PM
全席指定 6,500円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

Kasumi
Hamanoオルガン名曲
決定版 2025気鋭のオルガニスト濱野芳純、
待望のザ・シンフォニーホールデビューりゅーとびあ新潟市民芸術文化会館
第5代専属オルガニスト

[オルガン]はまのかすみ

濱野芳純

オルガンとの出会いは、関西学院大
学に入学してから

幼少期からピアノは習っていたものの、音楽家になるうとは思っていなかったという濱野は、ミッシン系の関西学院大学在学中に学生のチャヘルオルガニストの募集があり、面白そうだからと応募したのがオルガンとの出会いだと話す。オルガンに魅了された濱野は、卒業に必要な単位を取得した大学4年時に、師匠のオルガニスト坂倉朗子が学んだアムステルダム音楽院で4年間学んだ。その後、フランスのトゥールーズ音楽院でも研鑽を積み、第9回武蔵野国際オルガンコンクールで第3位入賞、リヨンのメシアンコンクール第4位および聴衆賞ほか、数々の受賞歴を誇る。2024年4月には新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)の第5代専属オルガニストに就任し、7月の初リサイタルでは同館の国内最大級のパイプオルガンを、モリス・デュリュフレの大曲「組曲op.5」で鳴らし切り、話題となった。高度な技巧に加え、歌心溢れる演奏は、聴く者を魅了する。

ホールの輝かしいオルガン演奏の
歴史に新たなページを刻む

ザ・シンフォニーホールのパイプオルガンは、スイスの名門「クレーン社」製。透明感のある明瞭な音が特徴で、3,732本のパイプから

京都生まれで、現在28歳の濱野芳純。
新たなスターの誕生を予感させる。オルガンの醍醐味を堪能できる意
欲的なプログラムに注目

今回のリサイタルでは、ブクステフーデ(1637-1707)、バッハ(1685-1750)、フランク(1822-1890)、ヴィドール(1844-1937)とバロックから20世紀の音楽までを幅広く網羅し、意欲的なプログラムとなった。バッハの「トッカータとフーガ」、「主よ人の望みの喜びを」といったお馴染みの曲に加え、濱野が「派手さはないが、厳かな響きが際立つ、大好きな曲!」と語るフランクの「前奏曲(フーガと変奏曲)」など、ザ・シンフォニーホールデビューに向けた彼の意気込みが感じられる。

[オルガン]りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 第5代専属オルガニスト
濱野芳純

ブクステフーデ：前奏曲 二長調 BuxWV139
バッハ：オルガン協奏曲 第2番 イ短調 BWV593
バッハ(デュリュフレ編)：主よ人の望みの喜びよ BWV147
バッハ(デュリュフレ編)：カンタータ 第29番「神よ、われ汝に感謝す」より シンフォニア
バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565
フランク：前奏曲、フーガ 二短調 BWV565
ヴィドール：トッカータ

2025.5/17(土) 2:00PM

全席指定 2,750円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

(取材・文 磯島浩彰)

仲道郁代
ピアノ・リサイタル

©Taku Miyamoto

シヨパンの故郷・ポーランドにゆかりある作品を仲道郁代がセレクト

国内を代表するピアニストの仲道郁代。これまでオール・シヨパンプログラムのリサイタルを行ったり、シヨパンの時代に使用されていたピアノと奏法で演奏し、シヨパンの原点に立ち返るなど、長きにわたり深く深くシヨパンにアプローチしてきた。今回そんな仲道がザ・シンフォニーホールで取り組むのは、シヨパンのボロネーズ第1番〜第7番と、バラード第1番〜第4番の全曲だ。

シヨパンはポーランドのワルシャワで生まれ育つも、青年期以降はさらなる活躍を目指して赴いたパリに定住したが、時代の波に翻弄されて最期まで故郷への帰還がかなわなかった。フランス語でポーランドの舞曲を意味する「ボロネーズ」と、ポーランドの国民的詩人であるアダム・ミツキエヴィチの詩からインスピレーションを得て作曲した「バラード」。どちらもポーランドにゆかりのあるジャンルであり、故郷への深い愛と切ない思慕に触れられることだろう。

確かなテクニックと円熟した表現力が兼ね備えられた演奏で仲道ならではのシヨパンへの智慧ある解釈が感じられるのはもちろん、恒例のトークでは仲道と聴衆の対話を通してシヨパンの姿に迫ることのできる公演に

(文 桑田萌)

[ピアノ]仲道郁代

《オール・シヨパン・プログラム》

ボロネーズ第1番 嬰ハ短調 op.26-1 / ボロネーズ第2番 変ホ短調 op.26-2 /
ボロネーズ第3番 イ長調 op.40-1「軍隊」 / ボロネーズ第4番 ハ短調 op.40-2 /
ボロネーズ第5番 嬰ヘ短調 op.44 / ボロネーズ第6番 変イ長調 op.53「英雄」 /
ボロネーズ第7番 変イ長調 op.61「幻想ボロネーズ」 / バラード第1番 ト短調
op.23 / バラード第2番 へ長調 op.38 / バラード第3番 変イ長調 op.47 / バ
ラード第4番 へ短調 op.52

2025.3/22(土) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Shion

Osaka Shion
Wind Orchestra

第159回定期演奏会

[指揮]
大植英次

稀代のマエストロ、Shionに再び降臨。
2023年9月2日、Shion創立100周年イヤー真っ只中のこの日、ホールに鳴り響いた「カルミナ・ブラーナ」は、吹奏楽の歴史を塗り替えたと言えるほどの衝撃をもたらしました。リハ・サル時から異次元の化学反応を示し続けたShion x 大植英次のタッグが、再び実現することとなりました。

千夜一夜物語(アラビアン・ナイト)の語り手を鮮やかに描いたN・リムスキー＝コルサコフ…交響組曲「シエラザード」をマエストロからのアイデアでメインに据えます。佐藤正人による新アレンジにも要注目です。

中プロは、O・レスピーギ…交響詩「ローマの松」。「ローマ三部作」の一角を成すブリアントなこの作品は吹奏楽での演奏機会も多く、Shionも得意とする楽曲です。そしてオーブニングはA・ドヴォルザーク…序曲「謝肉祭」。祝祭の賑やかな雲間気が吹奏楽によく映えます。

どちらも、2025年に還暦を迎える吹奏楽を知り尽くした名匠、鈴木英史氏のアレンジでお届けします。

吹奏楽の歴史に新たなページが刻まれる瞬間を、是非ザ・シンフォニーホールの客席でご堪能ください。

[指揮]大植英次 [吹奏楽]Osaka Shion Wind Orchestra

A.ドヴォルザーク/編曲 鈴木英史：序曲「謝肉祭」
O.レスピーギ/編曲 鈴木英史：交響詩「ローマの松」
N.リムスキー＝コルサコフ/編曲 佐藤正人：交響組曲「シエラザード」

2025.3/29(土) 2:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 2,500円 学生価格 3,000円(税込)

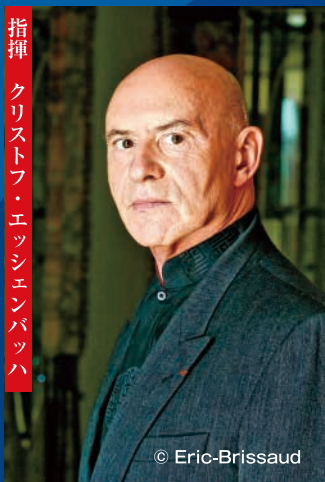
※C席は、Shionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売。
※学生価格は、Shionチケットセンターのみでの販売。

[お問い合わせ] Shionチケットセンター

フリーコール:0800-919-5508(平日10:00~17:30)

[主催]公益社団法人 大阪市音楽団

発売中



指揮 クリストフ・エッセンバハ

© Eric-Brissaud

万博への思い
——今年は大阪万博の年です。万博という何をイメージされますか、また大阪の音楽界にとってどのようなインパクトをもたらすのでしょうか。

万博というやはり70年万博を思い出します。まだ7歳でしたが、子どもなりに世界中の人が集い、たくさんパヴィリオンがあつて、未来を感じました。それから50年以上が経ち、自分が大阪

オーケストラにとってベートーヴェンとは
——今年は在阪オーケストラもベートーヴェンを多く取り上げるようですが、現代のオーケストラにとってベートーヴェンとはどういう存在なのでしょうか。

現代のオーケストラにとって、ベートーヴェンとは「原点であり頂点」と言っている作品だと思っています。大阪フィルは朝比奈先生と何度も繰り返しベートーヴェンの交響曲全曲演奏に取り組んできました。ま

ベートーヴェンとブルックナー
——大阪フィルの第九の特徴はどういうところにあるのでしょうか。たとえば大阪フィルのブルックナーといえばこの音というものがあろうと思うのですが。

朝比奈先生はブルックナーとベートーヴェンをとっても大切にされていきました。ブルックナーの音

いのち輝く未来社会へ
——福山さんは万博の記憶があるんですね。

そう、特に「月の石」はよく憶えています。自分も大きくなったら宇宙へ行くのかなんて考えたりしましたね。

——そういう意味では、今度のコンサートも若い人たちにもぜひ来ていただきたいですね。

未来を感じてほしいですね。

——文明が発展しているんな便利なものが出来て、それこそ『空飛ぶクルマ』とか色々な話があります。200年、300年前に書かれた楽譜に命を吹き込み、変わらぬ演奏を続けるオーケストラの魅力というのぜひ伝えていきたいですね。

今回の万博のテーマは「いのち

2025年大阪・関西万博開催を記念し、「クリストフ・エッセンバハ×大阪フィル 第九演奏会」を開催いたします。北ドイツ放送響、フィラデルフィア管、パリ管と、ヨーロッパ・北米、両方で活躍してきた世界的巨匠と大阪の老舗オーケストラのコラボレーションに期待が高まります。今回の演奏会について大阪フィルの福山修事務局長が山口明洋演奏事業部長を聞き手に語りました。

フィルというオーケストラで万博に関わることに感慨をおぼえます。

70年万博はカラヤン・ベルリン・フィル、バーンスタイン・ニューヨーク・フィル、セル・グランドなど世界最高峰のオーケストラが続々と大阪にやって来た。関西のクラシック音楽界だけではなく、日本の音楽界にとつてエポックメイキングな年となりました。また大阪フィルも（楽団創立者の）朝比奈隆先生とたくさん演奏会を行ったと聞いています。今回の演奏会も未来に語り継がれるような演奏会になれば、と思っています。

さにベートーヴェンをレパートリーの中心に据えて、オーケストラの音を作り、音楽を育ててきたオーケストラと言って差し支えないと思います。その後歴代音楽監督、大植英次さん、現在の尾高マエストロも引き継ぎ、ベートーヴェンに取り組み続けてきました。

そのベートーヴェンの交響曲の中でも、9番というのは人類の友愛を歌った、万国の人々が集う万博に相応しい作品だと思っています。その作品を開催地である大阪のオーケストラがどのように奏でるのか、ぜひ世界の人々に聴いていただきたいと思っています。

楽が神へ向けたもので、ベートーヴェンの音楽が人間へ向けたものであったとすれば、この二人の作曲家は朝比奈先生にとって両輪であったと言えるのではないのでしょうか。どちらか片方ではなく両方に向き合ってきたから素晴らしいと思うのです。この二人の作曲家の作品をこれだけ繰り返し演奏してきたオーケストラは他にないと思います。ですから、その経験が染み込んでいる大阪フィルの第九には特別な響きがあると思います。

輝く未来社会のデザインですが、命というのは今この瞬間を生きているというだけの途切れ途切れのものではなく、脈々と引き継がれてきたもの。それと同じようにオーケストラも200年前に書かれた作品を繰り返し演奏し、次の時代に引き継ぎ、命を繋いでいきます。

——最後にお客様へひとことお願いします。

大阪のお客様にはあらためて我が街のオーケストラの音、というのを世界的な指揮者、ソリストとの共演で聴いていただきたいです。初めての方にもぜひこの機会に知っていただきたいと思っています。皆様のご来場を心からお待ちしております。

【指揮】クリストフ・エッセンバハ
【独唱】調整中
【合唱】新国立劇場合唱団

ベートーヴェン／交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」ほか

2025.4/17(木) 19:00 4/19(土) 14:00

全席指定 A席 10,000円 B席 5,000円(税込) C席 3,000円(税込)

【お問い合わせ】大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

【主催】公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

先行予約：1/23(木) 一般発売：1/30(木)

NEW

© LucaPiva_23large

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA × CHRISTOPH ESCHENBACH



大阪フィル クリストフ・エッセンバハ 第九演奏会

2025/4/17(木)・19(土)

© 飯島隆

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター ▶電話 / 06-6453-2333 WEB / <https://www.symphonyhall.jp>

Sinfonia 14



イタリア・パビリオン アンバサダー 西本智実

オペラ／カンツォーネ 名曲選

イタリアから愛と情熱のプログラム



管弦楽：イルミナートフィルハーモニーオーケストラ（IPO）
合唱：イルミナート合唱団（IPC）

[指揮] 西本智実
[テノール] 澤原行正、金山京介
[管弦楽] イルミナートフィルハーモニーオーケストラ（IPO）
[合唱] イルミナート合唱団（IPC）

2025.5/25（日）2:00PM

全席指定 S席8,000円 A席7,500円（税込）

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】MIN-ON

一般発売：2/20（木） NEW

各国を代表するオーケストラや名門国立歌劇場などから招聘されるなど、世界を舞台に活躍をする西本智実。

ハーバード大学ケネディスクーリング・修了。ダボス会議YGL、大阪音楽大学客員教授、研究者として国の科学プログラムにも従事。そして、令和6年度文化庁長官特別表彰を授与されることが発表されました。

EXPO2025 大阪・関西万博では「ローマ教皇庁パビリオン」「イタリアパビリオン」2カ国のアンバサダーに就任しました。

今回の公演では、オペラ王として知られるヴェルディやプッチーニなどイタリアオペラの名曲や、イタリアのポピュラー音楽・カンツォーネの珠玉の名曲の数々を存分にお届けします。

演奏は西本智実が芸術監督を務めるイルミナートフィルハーモニーオーケストラ（IPO）・ヴァチカン国際音楽祭名譽パートナーオーケストラ、イルミナート合唱団（IPC）・ヴァチカン国際音楽祭名譽パートナー合唱団（IPC）。

ソリストも加わり豪華で圧巻のステージになります。

【第2部】
G. プッチーニ／オペラ「トゥーランドット」より、誰も寝てはならぬ
G. ヴェルディ／オペラ「アイダ」より、凱行進行曲
「オー・ソレ・ミオ」（ナポリ民謡）、他

※予定曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。



光と映像で楽しむ

Vol. 20!

だいすけお兄さんとレストランに行こう！

今回のテーマは

《だいすけお兄さんとレストランに行こう！》

今回でVol.20を数える人気のオーケストラコンサート「0歳児からの「光と映像で楽しむ」オーケストラ」が2025年も開催されます！今回もゲストには、NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」で第11代目歌のお兄さんを務めた「だいすけお兄さん」こと横山だいすけさんをお迎えし、家族みんなで楽しめる音楽の世界へご案内します。

作曲家であり、美食家でもあったロッシーニの歌劇「ウィリアム・テル」序曲より、スイス軍の行進曲で、レストランへの旅が始まります。だいすけお兄さんが歌うのは、子供たちが大好きな「バナナの親子」「おおきなかぶ」。みんなで楽しく盛り上がりましょう！食後のデザートとドリンクには、チャイコフスキーのバレエ「くるみ割り人形」で、お菓子の精たちが踊る「中国の踊り」（お茶）アラビアの踊り（コーヒ）、「スペインの踊り」（チヨコレート）をお楽しみください。最後はおなじみの「ぼよん行進曲」を！実は今回の「ぼよん行進曲」のアレンジは、前回公演のときとは、またひと味違ったアレンジとなっております、だいすけお兄さん



ゲスト
横山
だいすけ

イチオシの1曲。お聞き逃しなく！また、オーケストラが奏でる音楽に合わせ、映し出されるプロジェクション・マッピングの演出は、耳だけでなく目でも楽しむことができ、お子様にとって忘れられない音楽体験となるでしょう。

指揮の松元宏康さんは指揮者としての活動の他に、芸人コンビ「ジャジャジャジャー」としてM-1グランプリ3回戦出場や、YouTubeの配信など展開する。プロ指揮者と芸人の究極の二刀流。だいすけお兄さんとのトークやパフォーマンスで、会場を笑顔で包み込みます。

小さなお子様連れでも安心してご来場いただけるよう、会場には授乳室やおむつ替えスペース、ベビーカー置き場を完備。演奏中にお子様泣いてしまっても心配無用。途中の入退室も可能です。

重厚なクラシック音楽から親しみやすい童謡まで、幅広い音楽を楽しめるこのコンサート。ザ・シンフォニーホールでお会いできるのを楽しみにしています！

[指揮] 松元宏康 [ゲスト] 横山だいすけ
[管弦楽] 大阪交響楽団

★…プロジェクションマッピングつき…だいすけお兄さんが参加します★
ロッシーニ 歌劇「ウィリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」★／バナナの親子／おおきなかぶ／チャイコフスキーバレエ「くるみ割り人形」より「中国の踊り」／アラビアの踊り／「スペインの踊り」／J. ショトラウスホルカ「雷鳴と稲妻」／中川ひろたか：にじ／中西圭三「ぼよん行進曲」／エルガー行進曲「威風堂々」第1番★

2025.5/6（火・休）午前の部 11:00AM / 午後の部 2:00PM
全席指定 4,000円（税込）

※大人・子供均一料金 ※乳幼児のお子様（お膝の上でも）必ず座席券をご購入ください
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】公益社団法人 大阪交響楽団／ザ・シンフォニーホール

先行予約：1/23（木）一般発売：1/26（日） NEW



過去の公演の様子



指揮 松元宏康

国立カナダナショナル管弦楽団

Canada's National Arts Centre Orchestra



【管弦楽】国立カナダナショナル管弦楽団
Canada's National Arts Centre Orchestra

©Curtis Perry



【ピアノ】オルガ・シェプス
Olga Scheps

©Uwe Arens



【指揮】アレクサンダー・シェリー
Alexander Shelley

©Curtis Perry

カナダが誇る国立カナダナショナル管 大阪・関西万博に合わせてザ・シンフォニーホールで公演!!

創設から約半世紀、若き音楽監督の秀麗なタクトが冴え渡る！

カナダ建国100周年の1967年を記念して企画され、2年後に首都オタワに建設されたオタワ国立芸術センター。大劇場、リハーサルホール、レセプションホール、ワイ

クショップスペース、ショップ、レストランなどを擁するガラス張りの現代的な複合施設は、首都の名所として広く愛されている。

そのレジデント・オーケストラとして誕生したのが今回来日する国立カナダナショナル管弦楽団。

日本ではオタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団とも呼ばれているので、その名称でご存知の方もおられることだろう。

91年に世界的な古楽器奏者トレヴァー・ピノックを音楽監督に迎え、大きく躍進したこの楽団は、99年に後を継いだ現代最高峰のヴァイオリニスト＆指揮者ピンカス・ズッカーマンの下で録音にも積極的に取り組み、世界的なオケとして認知されるようになった。

そして2015年にズッカーマンからバトンを受けたのが、現音楽

監督のアレクサンダー・シェリー。1979年にイギリスで生まれ、両親ともピアニストという音楽一家

（父は著名なピアニスト＆指揮者のハワード・シェリー）で、チェリストから指揮者に転身した俊才だ。シャープで彫りの深い音楽作りはその端正な顔立ちと重なるものがあり、多くのファンを聴覚と視覚の両面で魅了している。

NHK交響楽団にゲストコンサートマスターとして客演するなど、日本でもなじみの深い実力派。川崎洋介が長年コンマスを務める

ことでも注目の国立カナダナショナル管。

日本人コンマスの献身と才媛ピアニストの華麗なソロも期待大！

今回の予定演目には、ケイコ・ドウヴォー「水中で聞く」、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」という魅力的な3曲が並ぶ。

モントリオール在住の気鋭の現代作曲家に同管が委嘱し、2023年に初演された「水中で聞く」は、約17分の演奏時間に、静謐さと、流麗さと、緻密さとが巧みに調和した神秘的な佳曲。川崎の美しいソロも聴きどころで、初演の模様はYouTubeで視聴できる。

ラフマニノフの第2番は、ロシア出身のピアニスト、オルガ・シェプスがソリストに登場。10年にアリスII紗良・オットとドイツの権威あるエコー賞を二分した人気と実力を備え、ドイツ・クラシック音楽界の大神所評論家ヨアヒム・カイザーをして、「オルガ・シェプスは真の発見だ」と言わしめた才媛だ。今回もロマンティックな大河のような傑作協奏曲に随所で斬新な解釈を織り込んだ秀演を聴かせてくれることだろう。

そして、今回のトリを飾るベートーヴェン「運命」。シェリー&

【指揮】アレクサンダー・シェリー 【ピアノ】オルガ・シェプス
【コンサートマスター】川崎洋介
【管弦楽】国立カナダナショナル管弦楽団

ケイコ・ドウヴォー：水中で聞く(Listening Underwater)
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18
ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調「運命」op.67

2025. 6/7(土) 2:00PM

全席指定 A 13,000円 B 11,000円 C 8,000円 D 6,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333

【主催】コンサートイマジン、ABCテレビ 【協力】ザ・シンフォニーホール

一般発売：1/26(日) NEW

(文 渡辺謙太郎)

ジャンンドレア・ノセダ指揮 ナショナル・ユースオーケストラUSA 大阪公演

National Youth Orchestra of the United States of America



〔指揮〕

ジャンンドレア・ノセダ
Gianandrea Noseda

©Tony Hitchcock

〔ヴァイオリン〕

レイ・チェン
Ray Chen

©John Mac

〔管弦楽〕

ナショナル・ユースオーケストラUSA

©2024 Chris Lee

ノセダが振り、レイ・チェンが奏でる。全米を代表するユースオーケストラの初来日！

音楽家ならずとも、誰もが夢見る音楽の殿堂カーネギーホールは、ニューヨーク・マンハッタンにミッドタウンに1891年に創設されたコンサートホール。古くからあるジョークで、「すみません、カーネギーホールにはどうやって行くんですか？」と尋ねられた大御所ピアニストは「練習して、練習して、ひたすら練習してください」と答えたという。カーネギーホールの格式を示す上で、あまりにも良く出来たハナシだ。また、2000年代に入ってから、カーネギーホールまでのアクセス案内ページには、このジョークを踏まえたコメントが記されて

カーネギーホールは教育プログラムにも定評がある。

かつてカーネギーホールは、ニューヨーク・フィハーモニックの本拠地だったこともあり、クラシック音楽を中心にジャズやポップスなど幅広いジャンルのコンサートを行い、教育プログラムや後進の指導にも熱心なホールとして知られている。その中の一つ、ウェイル・ミュージック・インスティテュート（WM）は、全米から選りすぐりの若い音楽家たちを3つのカテゴリーからなるユース・アンサンブルに振り分けて有している。16歳〜19歳のクラシック音楽を学ぶ者によって構成されるナショナル・ユースオーケストラUSA（NYOUSA）については、毎年夏に厳しいオーディションを経て、全米のトップ・プロ・オーケストラの首席たちから指導を受け、カーネギーホールで演奏するだけでなく、世界の主要な都市を音楽大使として訪れ、文化交流を図り、自らの将来の為に国際経験を身に付けている。もちろんリハーサルや遠征に纏わる費用の全てはスカラーシップで賄われる。

WMには他にも、14歳から17歳の優秀なクラシックの音楽家からなる「NYO2」。もう一つが、16歳

から19歳の全米屈指のジャズ奏者からなる「NYOジャズ」と、3つのカテゴリーに将来の音楽界を担う優秀な人材が所属している。

ナショナル・ユースオーケストラUSAが待望の来日を果たす！

そんな「NYOUSA」の初来日が、2025年7月に決まった。日本公演は、東京のサントリーホールと大阪のザ・シンフォニー・ホールの2カ所だけで行う。ザ・シンフォニー・ホールのプログラムは、1曲目にカルロス・サイモンの祝典序曲を演奏するが、これはボストン交響楽団とカーネギーホールが共同で委嘱した新作だそう。他には、メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」とラフマニノフ「交響曲第2番」といった超人気曲が選ばれた。指揮は世界各地のオーケストラや歌劇場からオファーの絶えないジャンンドレア・ノセダ。ワシントン・ナショナル交響楽団やロンドン交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団にポストを持っていたことでも知られ、現在はチューリッヒ歌劇場の音楽総監督を務める実力派指揮者だ。日本ではNHK交響楽団を定期的に指揮しているが、N響のSNSにスケジュールがなかなか押さえられないと書いてあるほど多忙を極める人気指揮者。ヴァイオリン独奏は、こちらも人気と実力を併せ持つレ

message

2000年にマリンスキー劇場と初めて来日して以来、大好きな日本に来ることは、私にとっていつも大きな喜びです。デビュー後は定期的に、各地のオーケストラ（東京交響楽団やNHK交響楽団など）との共演や海外オーケストラとのツアー（BBCフィルハーモニー管弦楽団、メトロポリタン歌劇場、トリノ劇場など）で日本を訪れるようになりました。今回は、私が初めて指揮するアメリカのナショナル・ユースオーケストラとの共演となります。若い世代のオーケストラの音楽家たちと仕事するのはいつも楽しく、彼らが持っている熱意のあるエネルギーは、次世代の最高レベルのクラシック音楽家を育て作り上げるためにも必要です。

また、BBCフィルハーモニー管弦楽団と共演した思い出もある、素晴らしいザ・シンフォニー・ホールにまた戻れることは、大変嬉しく、感慨深く思っています。今回演奏するレパートリーには、私が最も愛する交響曲のひとつ、ラフマニノフの交響曲第2番が含まれています。この作品は、私がBBCフィルハーモニー管弦楽団と録音し、世界中で何度も指揮していますが、新鮮さ、直感的、熟練した技巧の感覚を失うことはありません。レイ・チェンという素晴らしい才能の持ち主との共演は見逃せないと思います。日本の素晴らしい聴衆の皆様へ、再びお会いできることを楽しみにしています。

〔指揮〕
ジャンンドレア・ノセダ

Gianandrea Noseda

現在最高峰に位置する指揮者ノセダと、レイ・チェンの二人が、全米を代表する10代の若さ溢れる演奏家たちと作り出す音楽とは、何なるものなのか。チケットの発売は2025年の1月下旬。売り切れが予想されるだけに、早めのゲットをおススメする。（文 磯島浩彰）

〔指揮〕ジャンンドレア・ノセダ 〔ヴァイオリン〕レイ・チェン
〔管弦楽〕ナショナル・ユースオーケストラUSA

カルロス・サイモン：祝典序曲（ボストン交響楽団・カーネギーホール共同委嘱新作）
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
ラフマニノフ：交響曲第2番 ホ短調 op.27

2025. 7/24(木) 7:00PM

全席指定 S 8,000円 A 6,000円 B 3,000円(税込)

〔お問い合わせ〕ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

〔主催〕ザ・シンフォニー・ホール

シンフォニア会員先行：1/23(木) 一般発売：1/26(日) NEW

こみちゃんの 温故知シン《vol.13》

小味渕 彦之 (こみぶち ひろゆき / 音楽評論家)



2024年の年末で指揮活動を引退した井上道義さんの、ザ・シンフォニーホールにおける最後の公演は、11月30日に開かれた「井上道義ザ・ファイナル・カウントダウンV.O.I.5」(朝日放送テレビ主催)でした。満員の聴衆が総立ちで、名残惜しくも温かな喝采を贈りました(＝写真)。

大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮して奏でたのは、ベートーヴェンの《交響曲第6番「田園」》と《交響曲第5番「運命」》というテッパンの組み合わせ。そのコントラストが明白に表現されました。開演前の舞台を眺めて驚いたのは、弦楽器奏者たちの椅子の数が少ないことです。8型と言われる第1ヴァイオリンが8人という編成で《田園交響曲》がしつとりと鳴り響きました。まさにこれは室内オーケストラの規模になります。照明の演出も加えて、浮かび上がった響きは極上のビロードのような滑らかな感触。大編成ならば真っ直ぐに通り返してしまう部分を、丁寧に細かなニュアンスが施されて音楽は歩みました。

驚いたのはピッコロ、トランペット、トロンボーン、ティンパニの6人の奏者が曲途中で舞台に現れたこと。

山響さくらんぼコンサート



フィンランドの巨匠オッコ・カム&神尾真由子とのオールシベリウスプログラム！ 13回目を迎える山形交響楽団「さくらんぼコンサート」大阪公演

▶毎年恒例の“山形県東根市産”さくらんぼは、今年も来場者全員にプレゼント！◀



2024年6月のさくらんぼコンサート。常任指揮者 阪哲朗が山響アマデウスコアと関西の合唱団とのコラボを実現。祝祭的な雰囲気と圧巻の演奏で沸いた会場の興奮が記憶に新しい方も多いのでは？常に温かな風を届けてくれる山響の13回目となる大阪公演。大阪・関西万博が始まり、世界中の視線が大阪に注がれる中、開催される山形交響楽団さくらんぼコンサート2025大阪公演は、今回もワクワクするコラボが実現する。

フィンランドの巨匠オッコ・カム
79歳は山響と特別な時を刻む「シベリウス」の伝統を育む
山形交響楽団

2018年の初客演で圧巻の名演を披露したシベリウスのスペシャリストオッコ・カム。「交響曲第2番」には殊更驚いた。これまでに聴い

ていたイメージとは全く違う。強さと鋭さ、繊細さが音楽の中に聴こえてくる(「山形新聞」と、絶賛を博した。79歳の巨匠カムは、山響との共演は特別と語る。その理由は……創立名誉指揮者 村川千秋(92歳!)の想いがあった。「僕の二つの夢は、シベリウスなら山響と言ってもらえること」と語り、交響曲全曲演奏などを重ねた村川の想いが、山響の礎となっているからだ。1969年第1回カラヤン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ベルリンフィル、シカゴ交響楽団など世界のメジャーオーケストラで絶賛を博した巨匠カム。ヘルシンキフィル首席指揮者、フィンランド国立歌劇場首席指揮者、ラハティ交響楽団音楽監督等を歴任。特にラハティ響が日本で敢行したシベリウス・サイクルは、圧倒的な感動を生み、今も語り草となっている。

フィンランドの巨匠と、シベリウス演奏を大切に育んできた山響とのコラボによる交響曲第2番。今から期待に胸が膨らむ。1曲目の「鶴のいる風景」は珍しい作品だが、オールシベリウスプログラムの幕開けには、面白いんだとカムは素目「気も込めて語る」。

2023年に続いていた共演！
大阪から世界に羽ばたいた神尾真由子
シベリウスのロマンティズムの結晶ともいえる名曲を披露！

2020年3月の山響初の無観客ライブ、2022年の創立50周年と、なぜか山響の重要な局面の舞台には神尾真由子がいる。12歳で大阪からアメリカ合衆国へ旅立つた神尾は、今や若き巨匠として世界を舞台とし、後進の指導にも情熱を注ぐ。完璧な技巧と緊張感と情熱、圧巻のロマンティズム。女神が宿ると評されるシベリウスの傑作協奏曲に最もふさわしいソリストを迎え、このオールシベリウスプログラムが完成した。

大阪・関西万博が開催される2025年
フィンランド&大阪&山形の美しい
コラボによって、YAMAGATAの
魅力を体感するコンサート！

2025年は山形にとっても特別な年にあたる。「さくらんぼ栽培



150周年」なのだという。山形の食の魅力は何物にも代えがたい。山響大阪公演名物の、山形物産展も、もちろん開催される。ザ・シンフォニーホールが山形の魅力に包まれる本公演。是非、足を運んで体感してほしいと願う。

さくらんぼコンサート2025 大阪公演
[指揮]オッコ・カム [ヴァイオリン]神尾 真由子
[管弦楽]山形交響楽団

シベリウス： 鶴のいる風景 作品44-2
シベリウス： ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47
シベリウス： 交響曲 第2番 二長調 作品43

2025.6/20(金) 7:00PM
先行予約：1/23(木) 一般発売：1/27(月) **NEW**

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[お問合せ] 山響チケットサービス 023-616-6607

[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会／ザ・シンフォニーホール

山形交響楽団映像配信のご案内

クラシック専門
ライブストリーミングプラットフォーム
「CURTAIN CALL」
https://curtaincall.media/yamakyoo

山形交響楽団公式
YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra



構造の基幹である4つの音の動機は、この巨大な構造的作品のどこで鳴っているも人々に届かねばならないし貴石のように美しく輝いていなければならぬ「まさにこのことが体現されていたこの日の演奏はかけがえのないものでした。

道義さんが指揮するこの曲で思い出すのは、私が初めて井上道義という指揮者を認識したNHKのテレビ番組「徹子と気まぐれコンチエルト」での演奏です。1984年度の1年間にわたり黒柳徹子さんが司会をして、道義さんがレギュラーで登場していました。そこで取り上げられた《運命交響曲》は、確か第1楽章だけだったと記憶するのですが、音を指揮棒を持つ手で逃がさないように抱え込んで冒頭を指揮する姿に釘付けになった思い出があります。

ずっと音楽と真摯に向き合い、命懸けで音を紡いだ道義さん。大阪フィルとの演奏会は足かけ45年で約250回を重ねたそうです。最初にザ・シンフォニーホールに立たれたのは開館から間もない1983年のことでした。この舞台での指揮回数は何回だったのでしょうか。数々の忘れ難い演奏会があります。ありがたいございました、井上道義さん！

TheSymphonyHall × 関西4オケ 2025 New Year Message

大阪フィルハーモニー交響楽団



音楽監督
尾高忠明

Maestro Message

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。2025年、大阪フィルは7年ぶりに「ベートーヴェン・チクルス」に取り組みます。7年前は、音楽監督としての仕事を始めるにあたり、オーケストラとの共通言語を獲得するためのチクルスでした。その後、大阪フィルとブラームス、チャイコフスキー...と毎年テーマを持ったシリーズにチャレンジし、昨年はモーツァルトとブルックナーに取り組みました。多くの演奏会をともにし、関係が深まったところで行う2025年のチクルスは、7年前とはまったく違ったものとなるはずです。どうぞ現在の大阪フィルのベートーヴェンをお聴きください。今年もよろしくお願いいたします。

Pickup Concert

ソワレ・シンフォニーVol.25

2025年5月29日(木) 7:00pm開演

指揮:角田鋼亮/チェロ:横坂 源
【曲目】ハイドン:チェロ協奏曲 第1番 八長調 Hob.VIIb:1
マーラー:交響曲 第1番 二長調「巨人」

マチネ・シンフォニーVol.33

2025年6月26日(木) 2:00pm開演

指揮:沼尻竜典/ピアノ:小井土文哉
【曲目】三善晃:祝典序曲
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18
メンデルスゾーン:交響曲 第3番 一長調 op.56「スコットランド」

ベートーヴェン・チクルス I

2025年9月10日(水) 7:00pm開演

指揮:尾高忠明
【曲目】バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲
交響曲 第1番 八長調 op.21 交響曲 第2番 二長調 op.36

マチネ・シンフォニー Vol.34

2025年10月1日(水) 2:00pm開演

指揮:松本宗利音/ギター:ティボー・ガルシア
【曲目】湯山 昭:子供のための交響曲 ロドリゴ・アラマンフェス協奏曲
ビゼー:交響曲第1番

【お問い合わせ】大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

大阪交響楽団



常任指揮者
山下一史

Maestro Message

新年あけましておめでとうございます。今年には創立45周年を迎える特別な年であり、大阪交響楽団はますます充実したプログラムで、皆さまに感動していただけるプログラムをお届けしてまいります。4月、林 七奈さんのソロコンサートマスター就任を記念した公演で新シーズンがスタートします。高橋さんは「モーツァルティアーナ」をテーマにしたプログラム。創立45周年記念演奏会では、私が指揮を務め、4人のソリスト、大阪響コーラスと共にヴェルディの「レクイエム」を披露します。シーズン最後にはミュージックパートナーの柴田さんによるオペラ・演奏会形式シリーズで池辺晋一郎さんのオペラ「耳なし芳一」を上演いたします。2025年は次なる50年への第一歩を皆さまと共に刻む場になることでしょう。ぜひコンサート会場で、私たちと共にこの特別な一年を分かち合ってくださいと思います。

Pickup Concert

第279回 定期演奏会【林 七奈 ソロコンサートマスター就任記念】

2025年4月25日(金) 7:00pm開演 (6:45pmプレトーク)

指揮:山下一史(常任指揮者)/ソロコンサートマスター:林 七奈
【曲目】モーツァルト:ディヴェルティメント 第17番 二長調 K.334(320b)
モーツァルト:セレナード 第7番 二長調「ハフナー」 K.250(248b)

第280回 定期演奏会【モーツァルティアーナ】

2025年6月17日(火) 7:00pm開演 (6:45pmプレトーク)

指揮:高橋 直史(首席客演指揮者)/フルート:フルター・アウアー
【曲目】ミヒャエル・ハイドン:交響曲 第25番 一長調 MH334 P.16
モーツァルト:フルート協奏曲 第1番 一長調 K.313(285c)
レーガー:モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ op.132 (ほか)

第282回 定期演奏会【大阪交響楽団 創立45周年記念】

2025年9月28日(日) 3:00pm開演 (2:45pmプレトーク)

指揮:山下一史(常任指揮者)
ソリスト:森谷 真理(ソプラノ)、林 美智子(アルト)、清水 徹太郎(テノール)、伊藤 貴之(バス)
合唱:大阪響コーラス/合唱指揮:中村 貴志
【曲目】ヴェルディ:死者のためのミサ曲「レクイエム」

第286回 定期演奏会【オペラ・演奏会形式シリーズ Vol.4「耳なし芳一」】

2026年2月22日(日) 3:00pm開演 (2:45pmプレトーク)

指揮:柴田 真都(ミュージックパートナー)/芳一:渡辺 康
和尚:片桐 直樹(バリトン)/与作:青山 貴(バリトン)/おふく:中島 郁子(メゾ・ソプラノ)
武士:伊藤 貴之(バス)/老女:福原 寿美枝(メゾ・ソプラノ)/若い娘:東山 桃子(ソプラノ)
合唱:大阪響コーラス/合唱指揮:中村 貴志/ステージング:奥村 啓吾
【曲目】池辺晋一郎:オペラ「耳なし芳一」ほか

【お問い合わせ】大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

関西フィルハーモニー管弦楽団



首席指揮者
藤岡幸夫

Maestro Message

明けましておめでとうございます。本年も音楽を通じて、皆さまの心に豊かな感動をお届けできるよう努めてまいります。関西フィルとは25年間、毎年約40公演を共に積み重ね、共に成長して参りました。このたび、4月より総監督に就任し、関西フィルと関西の皆さまに恩返しできる機会をいただいたことを光栄に感じております。さらに、リオ・クオクマン氏をアーティスト・パートナーとして迎え、音楽監督オーギュスタン・デュメイ氏は退任後も名誉指揮者として関西フィルを支えてください。『宝石箱』のように華やかで多彩な個性がきらめく関西フィルのプログラムを、これまで以上に心血を注いでお届けしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

Pickup Concert

第354回定期演奏会

2025年4月29日(火・祝) 2:00pm開演

指揮:藤岡幸夫/ヴァイオリン:神尾真由子/合唱:関西フィルハーモニー合唱団
【曲目】ヴォーン・ウィリアムズ:揚げひばり、
プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 二長調 op.19、
レスピーギ:交響詩「ローマの噴水」、伊藤康英:管弦楽のための交響詩「ぐるりよざ」

第356回定期演奏会

2025年6月22日(日) 2:00pm開演

指揮:リオ・クオクマン/ピアノ:五十嵐薫子
【曲目】ショスタコーヴィチ:祝典序曲 op.96、
ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 op.43、
リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェラザード」 op.35

第360回定期演奏会

2025年11月7日(金) 7:00pm開演

指揮:オーギュスタン・デュメイ/ピアノ:ジョナタン・フルネル
【曲目】モーツァルト:交響曲第29番 一長調 K.201、
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番 一長調 op.58、
ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 op.56a

第361回定期演奏会

2026年2月20日(金) 7:00pm開演

指揮:アレクセイ・オグリンチュク/チェロ:上野通明
【曲目】プロコフィエフ:古典交響曲 op.25
ヴァインベルグ:チェロ協奏曲 一長調 op.43
ドヴォルザーク:交響曲第8番 一長調 op.88

【お問い合わせ】関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

日本センチュリー交響楽団



次期音楽監督
久石 譲

Maestro Message

あけましておめでとうございます。音楽監督として最初のシーズンの定期演奏会はずべて、センチュリーの編成を最も活かせるベートーヴェンの交響曲、そして1950年以降に作曲された現代の音楽を組み合わせたプログラムにしました。現代曲は各回の指揮者の皆さんに選んでいただきました。とてもいいラインナップになったと思います。第295回で演奏するハープ協奏曲には、昨年11月のLAフィルでの世界初演時にすばらしい演奏してくれたエマニュエル・セイソンさんをソリストに迎えます。たくさんの方に楽しんでいただければ幸いです。

Pickup Concert

第290回定期演奏会

2025年6月13日(金) 7:00pm開演

指揮:久石 譲
【曲目】ベートーヴェン:交響曲 第6番 一長調 op.68「田園」
久石 譲:交響曲 第2番

第291回定期演奏会

2025年7月25日(金) 7:00pm開演

指揮:デルヤナ・ラザロフ
【曲目】ラヴェル:組曲「クーブランの墓」(管弦楽版)
ショウ:アントラクト
ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ホ長調 op.60

第294回定期演奏会

2025年11月28日(金) 7:00pm開演

指揮:アルヴォ・ヴォルマー/ヴァイオリン:金川 真弓
【曲目】ベルト・カントウス=ベンジャミン・ブリテンの思い出に
ブリテン:ヴァイオリン協奏曲 op.15
ベートーヴェン:交響曲 第7番 一長調 op.92

第295定期演奏会

2026年1月17日(土) 2:00pm開演

指揮:久石 譲/ハープ:エマニュエル・セイソン
【曲目】久石 譲:Encounter for String Orchestra、ハープ協奏曲
ベートーヴェン:交響曲 第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

【お問い合わせ】センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

その他の
公演情報は
こちら▶▶▶





ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。

vol.67 61歳の挑戦

長らく放送の仕事、それも生放送に携わることが多かった私。もちろん、それが良いところなのですが、放送は形に残らないものです。

やっぱり、なにか形に残したいかも…。年齢60を過ぎて、ぼんやりと考えていました。

東日本大震災の際、宮城県気仙沼市の危機管理課長は、以前から私の良く知っていた人物でした。三陸のリアス式海岸は、地震のたびに津波に襲われていたため、有識者とともに津波の研究をし、住民と一緒に防災マップを作り、自治会ごとの避難訓練を精力的に実施、災害に備えてきたのが気仙沼市でした。

残念ながら、あの日は確かな記録に残る過去最大の津波をいとも簡単に乗り越え、市が指定した一時避難場所を飲み込んでしまったのです。危機管理課長は心に深い傷を負い、市役所を辞することになります。

周りの人はかける言葉が見つかりません。

ところが、元危機管理課長は『語り部』として立ち上がります。災害はこれからもやってくる。その日のために冷酷でつらい現実を自らの口で語ることを決意したのです。

「これからお話しすることは、私の失敗談です。どうぞそれを教訓として…」

こう語り始める講演は、東南海・南海トラフ沿岸の自治体の関心を集めるようになりました。

冒頭の話に戻ります。私はアナウンサーなので、取材をしてVTRを作り、放送して終わり。でもこの物語を放送だけで終わらせたくない…

もし私がシンフォニーの作曲家なら交響曲に、オペラの作曲家ならオペラにして、後世に語り継ぐべく楽譜に向かうでしょう。一方ノンフィクション作家なら、本にしたためるはず。

そうだ！音楽は無理だけど文章を書いてみよう。パソコンを前に文字を打ち始めてしばらくして、ふと気付いたのです。書かれたものを読むのが俺の仕事だと。そこで現在チャレンジしているのが、こちらです。

トークと朗読劇「3.11気仙沼市危機管理課長」～ある失われた地区の想い出に～

私の住む大阪市吹田市にて、近日上演!! (現在鋭意作成中…)

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシック知識を余すところなく語る30分。



毎週日曜日
あざ7時～7時30分

The Symphony Hall オリジナルスケジュール帳

ザ・シンフォニーホール 2025プランナー

タテ・ヨコ両方で使える便利なレイアウト

ヨコ向きなら

タテ向きなら

携帯するのに便利な
内ポケット&
ペンホルダー付き
※ペンや小物は付属しません

チケット購入時や
コンサート当日に使える
ホール座席表

数量限定

上品な質感、シックなカラーリングのカバー

ブルー レッド キャメル ブラック

A6(文庫本)サイズ 全4色展開 **2,640円(税込)**

販売場所 館内チケットセンター 窓口(11:00～16:00 火曜定休)
館内プレイガイド(公演日の開場中～終演後)

お問合せ ザ・シンフォニーホール
TEL: 06-6453-1010(火曜定休) HP: <https://www.symphonyhall.jp>

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

新たな年を迎え、たくさんの人々で賑わうこの季節。

ザ・シンフォニーホールでもパワーあふれる数々のステージが繰り広げられています。
今号では、3月の公演の中から、ダグラス・ボストック自ら指揮をする「大阪音楽大学 第56回吹奏楽演奏会」と、
小谷康夫指揮による「近畿大学付属高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会」をピックアップ!
若さあふれるフレッシュなブラスサウンドをお楽しみください。

MESSAGE

大阪音楽大学 第56回吹奏楽演奏会

大阪音楽大学 第56回吹奏楽演奏会

[指揮] ダグラス・ボストック
[吹奏楽] 大阪音楽大学吹奏楽団

G.ホルスト:
吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調
P.A.グレインジャー:
リンカンシャーの花束
P.スパーク:
交響曲第3番「カラー・シンフォニー」他

2025.3/1(土) 6:00PM

一般:3,500円(税込)
※全指定席 ※高校生以下は無料

[お問い合わせ]
大阪音楽大学コンサート・センター
06-6334-2242
※平日9:00～16:00(土・日・祝は閉室)

大阪音楽大学吹奏楽団によるコンサート!
ダグラス・ボストック氏を指揮者に迎えお届けします!

2025年に創立110周年を迎える関西地区唯一の音楽単科大学『大阪音楽大学』は、伝統に支えられたカリキュラムで着実に成果を上げ、関西地区に根を張った伝統校とし存在感を示しています。特に管楽器・打楽器専攻のカリキュラムは、アンサンブル教育に力を入れています。その成果は近年目覚ましいものがあり、多くの卒業生が関西地区を中心に吹奏楽活動の指導的な立場とし活躍しています。ウインド・アンサンブルにおいては、建学の精神が目指す《音楽(吹奏楽)文化の新たな発生地》となるために、音楽(吹奏楽)の卓越した技と知を継承し、音楽(吹奏楽)の持つ深い精神性を極め、音楽(吹奏楽)を通じて社会に広く貢献できる《質の高い音楽学士》を送り出すことを目的に、1968年より年1回の吹奏楽演奏会を研究発表の場とし、カリキュラムの一環として展開しています。

プログラムのメイン曲には「音」と「色」をイメージさせたスパークの「カラー・シンフォニー」をお届けします。ボストック氏と学生による夢のステージにご期待ください。

指揮 **ダグラス・ボストック**
©Peter Adamik

©大阪音楽大学

MESSAGE

近畿大学付属高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会

近畿大学付属高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会

[吹奏楽] 近畿大学付属高等学校吹奏楽部
[出演者] 小谷康夫(大阪交響楽団首席ティンパニ奏者)

[昼] スパーク:ドラゴンの年(2017年版)
[夜] スパーク:宇宙の音楽
ホルスト:惑星より「木星」

2025.3/24(月)

昼公演 1:00PM / 夜公演 7:00PM

昼公演(全席指定) 1,500円(税込)
夜公演(全席指定) 2,000円(税込)

[お問い合わせ]
吹奏楽部顧問
06-6722-1261
[ご予約]
ザ・シンフォニーチケットセンター
06-6453-2333

全国大会出場の高校生たちが奏でる吹奏楽の世界!

近畿大学付属高等学校吹奏楽部は1947年の創部以来、77年の歴史あるクラブです。現在は130名弱の生徒が在籍しており、毎日真剣に、そして全力で音楽を楽しみながら活動をしています。

毎年、定期演奏会ではシンフォニックなステージのみならず、ジャズ&ポップスなステージの盛り上がりが名物となっています。ジャズ&ポップスの演奏に関しては、シンフォニックジャズ&ポップス全国大会にて6度の日本一に輝くなど、名実ともに日本一のバンドです。また、シンフォニックに関しても、今年度は11年ぶりに全日本吹奏楽コンクールに出場するほど、その音楽性を磨き上げてきています。

今回の定期演奏会でも、例年通り昼公演、夜公演は別プログラムでお届けします。感情に訴えかけるようなシンフォニックなステージと、ココロとカラダが動き出すようなジャズ&ポップスなステージ。近高吹部の音楽にどうぞご期待ください!

写真提供: フォトチョイス